

## 令和5年度第1回富士圏域地域・職域保健連携協議会 会議録

日時：令和5年10月13日（金）午後1時30分から3時まで

会場：静岡県富士総合庁舎 3階 特別会議室

出席者：委員12名（うち代理出席1名）、同行者3名、事務局等5名 計20名

### 内容

1 開会（司会進行：富士健康福祉センター医療健康課 若松課長）

2 挨拶（富士保健所 下窪所長）

- ・日頃より、地域保健の推進に御協力いただき、感謝申し上げます。
- ・本協議会の趣旨は、地域保健と職域保健の関係機関の連携、健康推進のための情報共有や、協力体制の構築を図ること。
- ・今年度は、令和6年度より始まる第4次健康増進計画地域別計画策定の年。
- ・年度内にもう一度協議会を開催する予定なので、こちらの協力もお願いしたい。
- ・本日は、健康づくりの目標、取組について忌憚のない御意見を賜りたい。

3 報告

(1) 「令和5年度第1回ふじのくに健康増進計画推進協議会報告」

- ・資料1・資料2について説明（事務局・若松課長）

【質問・御意見等】

- ・なし

(2) 第3次ふじのくに健康増進計画地域別計画の評価について

- ・資料3・資料4について説明（事務局・富士健康福祉センター医療健康課 藤浪）

【質問・御意見等】

① お達者度について

○ 桜田委員（富士宮市医師会 理事）

県の平均では、平成27年度と変わっていないが、富士圏域は、結構下がっている。何か取組や効果を出した理由等あるか。

○ 事務局（藤浪）

説明が難しいが、上位目標（健康寿命の延伸・生活の質の向上）を達成するために立てている数値目標は悪化しているが、上位目標が改善しているという状況。グラフでは、平均余命と平均自立期間の差を示し、この差が要介護等の期間であり、この期間を短くすべく取組を行ってきた。何をしたら良くなったという理由は不明だが、全体的な意識の向上、総合的な市の事業実施等に

よる向上も考えられると思っている。

② 習慣的喫煙者について

○ 鈴木（淳）委員（富士市医師会 理事）

生活習慣病では、高血圧やメタボの有病者等を含め、全体的なグラフを示しているが、年代別のデータを示さないと、どの年代が問題なのかわからない。特に、働く世代の状況を確認する必要がある。

高齢者に禁煙を勧めても、絶対にやめない。今まで吸ってきて80歳、90歳まで生きていられると言われると説得力がなくなる。

今、問題になっているのは「未成年」。可能であれば、どの年代が喫煙が多いかを示していただきたい。

○ 事務局（県健康政策課 平山班長）

同様の質問が、県の特定健診・特定保健指導協議会でも出ている。年代別の変化を見ると、いずれの年代も悪くなっている傾向だった。富士圏域でも、県全体と比較すると悪い状況が続いている。

○ 事務局（藤浪）

未成年者の喫煙については、県では「子どもから大人へのメッセージ事業」を実施。小学生を対象として禁煙や受動喫煙防止の教育を実施し、子どもが帰宅後に親に習ったことを話す。その際、親が喫煙していれば、(子どもから親へ)「禁煙して」というメッセージを送り、そのメッセージに対して(親から子へ)返事をするという事業を実施している。

今、吸っている人の禁煙は、以前より進んでいる状況もある。全体の喫煙率を下げるには、新しく喫煙する人を減らすこと(未成年者への教育)、今、吸っている人で禁煙したい人を確実に禁煙につなげることを今後も継続していく。

③ 20～30歳代への対策について

○ 白川委員（富土地域産業保健センター コーディネーター）

指標等で使用しているデータは、40～64歳のデータになるが、これを良くしようとするならば、40歳以前(20～30歳代)の働く世代(職域)へのアプローチが必要になるが、どんな対応をしていく予定か。

○ 事務局（藤浪）

今回の計画に関しては、公的なデータを用いることが前提となっており、20～30歳代のデータは公的データとして出ていないので、把握できていないが、20～30歳代への取組は必要。

県としては「健康づくり推進事業所」の登録を推進しており、事業所自らが健康づくりや保健活動を進める取組、また、推進事業所から要望があれば運動・禁煙等について啓発するアドバイザーを派遣する等の取組を実施している。

○ 飯田委員（全国健康保険協会静岡支部 保健専門員）

地域職域となると、若い人の健診結果は重要になってくると思う。今後、国の方でもコラボヘルスということで、事業所全体の健診結果を各保険者へという話が出ているので、今後データとして出てくると思っている。

④ 飲酒の状況について

○ 飯田委員（全国健康保険協会静岡支部 保健専門員）

協会けんぽでは、多量飲酒、習慣的（毎日）飲酒も結構悪い状況だが、富士地域はどうか。

○ 事務局（藤浪）

富士地域も毎日飲酒する人の割合を見ると、悪かったと記憶している。

4 協議

(1) 「第4次ふじのくに健康増進計画地域別計画について」

・資料5・資料6について説明（事務局・藤浪）

※ 資料5・6指標、数値目標、観察指標については、本会議にて承認いただいた。

【質問・御意見等】

① 富士圏域地域・職域保健連携協議会の位置づけについて

○ 白川委員（富士地域産業保健センター コーディネーター）

県健康増進計画の部会、地域別会議という位置づけでいいのか。

○ 事務局（平山班長）

全県の健康増進計画推進協議会の地域版、特定健診・地域職域連携推進協議会の地域版の2枚看板での位置づけになる。

② 市町健康増進計画、データヘルス計画との整合性について

○ 白川委員（富士地域産業保健センター コーディネーター）

計画の目標値は、市町健康増進計画、データヘルス計画の目標、指標と目標値の整合性がとられるのか。実際、計画に取り組むのは、市町と県になるのだが、県と市町の計画がかけ離れていても問題ないという理解でいいのか。

○ 事務局（平山班長）

今年度、県健康福祉部全体で17計画の改定作業を行っている。計画間で齟齬がないように指標を使うようにしていくことを大きな方針として進めている。国保データヘルスとも齟齬が出ないように進めている。

③ 市が作成するデータヘルス計画について

○ 同行者（富士市国保年金課 小林保健師）

市町のデータヘルス計画策定にあたり、県のデータヘルス計画とも整合性をとるのか。

○ 事務局（平山班長）

県国保課から「データヘルス計画策定指針」のようなものが市国保課に示されている。指針に掲載されている指標（平均自立期間、高血圧者割合等）が今回の健康増進計画の中でも使用していくものとなる。これらも整合性をとって進めているところ。

④ 介護割合データについて

○ 櫻田委員（富士宮市医師会 理事）

12 ページの富士圏域の介護データについて、1号保険者のみで示しているが、2号保険者の状況はどうなっているのか。

○ 事務局（藤浪）

富士圏域の2号保険者の数は把握している。今回、2号保険者（40-64歳人口）までを母数に入れて計算すると、割合がかなり小さくなってしまっているので、資料では1号保険者のみで提示した。この場で数値をお伝えできず、県全体との値の比較ができていないので、次回協議会の時に数値を準備する。

⑤ 脳血管疾患死亡について

○ 富士宮市医師会 理事 櫻田委員

脳血管疾患の死亡が全国に比べて高いが、実際は東海地域は気候がいいので、脳血管疾患はあまり起きない印象がある。脳出血等が意外に多く、亡くなっている方が多いので、地域の救急搬送の問題があって重症化しやすい等について調べているか。

○ 事務局（県健康政策課 平山）

今回は、脳血管疾患の死亡が全国と比較して多いという話なので、生活習慣対策をどう打つか、というより医療搬送体制を検討した方が直接的な改善につながると思うが、現在、全国と比較した状況のデータを持ち合わせていないので何とも言えない。この会議の趣旨としては、生活習慣の部分で、脳血管疾患をどこまで防げるか、予防できるかという点をみんなで検討いただきたい。

○ 櫻田委員（富士宮市医師会 理事）

高血圧の率も高いので、それも影響しているとは思いますが、重症化する中に突然死もある。

○ 下窪議長（富士保健所長）

t-PA（血栓溶解療法）等を行うのが難しい賀茂地域に比べて、富士地域で要因があるかという話になると、違った話になってくる。本日は、データがそろっていないので御容赦いただきたい。

⑥ 地域版アクションプランの策定について

○ 同行者（富士市健康政策課 佐野保健師）

県の健康増進計画は、計画とアクションプランを一体的に策定すると説明があったが、圏域計画もアクションプランを策定するのか。

○ 事務局（藤浪）

圏域版のアクションプランの策定予定なし。

(2) 「作業部会について」

- ・資料7について説明（事務局・藤浪）

【質問・御意見等】

① 作業部会の開催回数について

○ 白川委員（富土地域産業保健センター コーディネーター）

作業部会の開催回数は何回か。

○ 事務局（藤浪）

1回の予定。

② 商工会議所の協力の承諾について

※調査実施に際し、各商工会議所より引き続き協力の申し出をいただいた。

5 情報提供・連絡事項（司会進行：若松課長）

(1) 情報提供：「血圧測定習慣化事業について」

- ・資料8・資料9について説明（事務局・藤浪）

(2) 連絡事項

- ・次回協議会は、令和5年12月11日（月）、同じ会場（静岡県富士総合庁舎3階特別会議室）で行う。
- ・今回提示できなかった数値目標の協議、各組織での取組報告、各委員から出欠報告時にいただいた「意見交換したい内容」等について意見交換をお願いする予定。

6 閉会（司会進行：若松課長）

7 その他

今回の協議会の中で示せなかった各数値については、次回協議会で提示する予定。